

2019年度 評価項目の達成及び取組み状況

自己評価表 (教職員)

区分	内容	理由及び今後の課題
保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育理念や教育方針を理解している。 ・教育要領・教育課程・幼児の実態などをもとに考えて指導計画を作成する。 ・指導計画は総合的な活動ができるように考慮して作成する。 ・楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をする。 ・自分の保育と計画の評価・反省を行ない次の保育と計画に活かす。 ・日々、健康と安全に対する配慮を行ない、気付いた場合はすぐに報告し、対策を立てられるようにする。 ・一人ひとりの幼児をよく観察し個々の発達の姿や課題について見通しを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、コロナ禍の中、子どもたちのことをまずは、考えて保育を計画してきた。保護者にとっては、なかなか保育の実態が見えない1年となったのは、次年度の課題である。 ・子どもたちのことについて、教職員で共通理解に立つことができたが、2か月の緊急事態宣言での休園期間は、新しい教師にとっては、不安の毎日となった。 ・無料開放では、1年を通して、天候に恵まれ戸外遊びをできたことはよかった。悪天候時は、十分なソーシャルディスタンスがとれるようホールを利用できる日時設定が必要と感じました。
保育の在り方・幼児への対応	<p>幼児のことばによく耳を傾けるとともにわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をする。 ・園すべての幼児について理解を深め、指導上配慮を必要とする場合は共通理解を持って対応する。 ・自分のクラスだけではなく他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うことにより、幼児自らが一人ひとりの違いを理解し認め合いながら生活できるように配慮・助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育、未就園児保育共に、大きな事故もなく健康に過ごすことができました。 ・午睡の準備からおやつの時間、お迎えまでの時間、繰り返しの中で身に着けていく子どもの姿を感動。 ・預かり保育時はひとりひとりのことば、会話が聞くことができ楽しい時間です。 ・ひとりひとりが、好きな遊びを選び取り、集中できることを大切に見守りました。 ・情緒面、身体面で保育上、援助配慮を要する子どもの共通理解のために園長先生、クラス担当と預かり担当との打ち合わせが必要に思われます。 ・預かりの時間を共にしているこどもたちのつながりは、強く、それぞれが認め合っている姿がみられます。十分な休息、リラックスできる環境、体調に留意しながらの時間をここがけていきたいです。
教師としての資質や能力・良識・適正	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を作る為の努力をしている。 ・仕事の手順を考え、能率よく行う努力をする。 ・組織の一員として教職員全員でひとつのチームであることを意識している。 ・教師として幼児と共に生活することを楽しみ、幼児の成長を心から喜ぶことができる。 ・幼稚園や幼児のことだけでなく自然や社会のできごとにも興味を向けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お迎えの時は、子どもの体調面について、一言伝える様にしました。 ・コロナ禍の中、今まで以上に職員で協力し合った1年だったと思います。 ・自分だけでなく、家族の健康管理も重要な一年であった。

<p>保護者への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイント等をクラス便りでわかり易く伝える。 ・個々の子どもの様子を伝え園と家庭で成長を支える為の共通理解をもつことができる様に努める。 ・保護者からの様々な意見については園長等に報告相談する。 ・守秘義務を遵守する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス、学年だよりを1か月に一回配布してきた。月末には、担任から、子どもたちへ、保護者へのメッセージを送っていた。担任たちは、時間のないなか、心をこめて書いていた。保護者の反応は、それぞれで、一度も返事を書いて下さらない方もいたので、教師のモチベーションが上がらない時もあったように感じる(園長として見守る中で感じたこと) ・コロナ禍で園内の様子をみてもらうことが難しく、自ら気になることや心配なことを投げかけてくださる方に対しては、対応することができたが、自ら発信できない保護者の方へのフォローができないこともあったと思う。次年度の課題である。 ・保護者対応としては、職員が共通理解することができた。
<p>地域の自然や社会との関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や主な施設の場所交通機関についてある程度理解している。 ・地域の小学校の行事や公開授業に関心をもつ・地域開放や子育て支援のあり方について関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エドウィンダン公園の花壇の手入れは、今年度も不十分であったが、地域のボランティアの方々に支えていただきながら、子どもたちと良い経験ができたのは、感謝である。 ・地域の方々には、いつも声をかけていただき、子どもたちの成長を見守ってくださっていることを感じる事ができた。 ・子どもたちが元気に過ごしている姿を通りから見て、元気をもらっているとおっしゃっていたのが、印象的であった。
<p>研修と研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や研究会には自己課題を持って進んで参加している。 ・指導計画の作成や記録の取り方について研究を行なう。 ・アレルギー、自立の遅れなど子どもを取り巻くさまざまな状況について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり日誌を新たに作成し、記録がとりやすくなった。 ・アレルギーに該当する子どもたちの状況は、共通のプリントで把握できていたが、クラス担当との確認が十分とれていなかった。 ・誕生会のおやつについては、事前にお知らせすることができず、当日の確認になってしまったのは、反省である。